



# ノロウイルス感染症



## ➤ 症状

乳幼児から高齢者まで全年齢で発症します。主に 11 月～1 月に流行します。突然の嘔吐、下痢、腹痛などの急性胃腸炎の症状があります。発熱はあっても軽度です。乳幼児では下痢に伴うけいれんをおこすことがあります。

## ➤ 感染経路

便や嘔吐物の経口感染、ウイルスを吸い込んで感染する飛沫感染  
カキ、二枚貝などの汚染された食品を介しての感染

## ➤ 潜伏期間

1～2 日間

## ➤ 治療

対症療法が中心です。脱水症状に対して水分補給、嘔吐に対しては制吐剤、下痢に対しては整腸剤を内服していただきます。制吐剤でも嘔吐が改善せず、水分補給ができなければ点滴が必要な場合があります。

## ➤ 家庭で注意すること

外出先から帰った後、トイレの後、調理や食事の前には石鹸で手をしっかり洗いましょう。便や嘔吐物を処理する時はマスク、手袋をして、ペーパータオルで拭き取り、その後次亜塩素酸（キッチンハイターなど）で浸すように拭き取ってください。衣服が便や嘔吐物で汚れた場合には、次亜塩素酸でつけおきした後、他の衣類と分けて洗濯をしましょう。

## ➤ 出席停止期間

嘔吐、下痢が改善したら登園、登校は可能です。